



一般財団法人

荒井記念美術館 「ピカソの天気」

私たちのところは、しばしば天気で表現されます。晴れの日もあれば、曇りの日もあります。そのような変わりやすい天気の下、ピカソは日常のひらめきによって創作を繰り返しました。そのためピカソ作品には、創作時の「ピカソの天気」が強く反映されています。本展示では、様々に変化する「ピカソの天気」をご紹介します。

【同時開催】

2019年度ピカソ版画常設展Ⅱ「巨匠への道」9月8日(日)まで

2019年度ピカソ版画常設展Ⅲ「ピカソと動物たち」9月11日(水)～11月10日(日)

【所在地】〒045-0024 北海道岩内郡岩内町野東505

【TEL】0135-63-1111

【URL】art@iwanai-h.com

【開館時間】9:00～17:00(入館16:30まで)

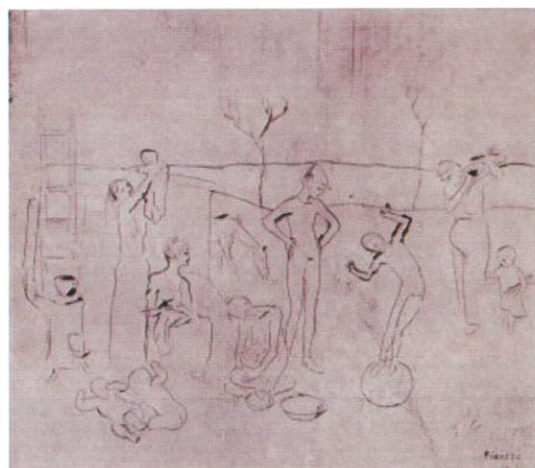
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

※臨時休館:7月16日(火)、8月20日(火)、9月10日(火)

【入館料】一般1,000(900)円/大高生700(600)円/
小中生400(300)円

※()内は10名以上の団体割引及び各種割引

【交通】〈バス〉中央バス岩内ターミナル下車タクシー15分



パブロ・ピカソ「サルタンバンク」1905年



木田金次郎美術館
KIDA KINJIRO MUSEUM OF ART

「雲のある風景」

木田金次郎は、雲ひとつない青空を描いておりません。天気予報の世界では、雲が空全体の7割を占めるまでは「晴れ」ということですが、木田が描く風景には、必ず空に雲が描かれています。

それでは、後志の作家たちは、空をどう表現しているのでしょうか。本展では木田金次郎・西村計雄・小川原脩・山岸正巳・藤倉英幸の作品から「雲」に焦点をあてて紹介します。

【同時開催】

開館25周年記念特別展示「東京の木田金次郎」11月4日(月)まで

【所在地】〒045-0003 北海道岩内郡岩内町字万代 51-3

【TEL】0135-63-2221

【URL】http://www.kidakinjiro.com/

【開館時間】10:00～18:00(入館17:30まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日) 但し8月12日は開館します。

【観覧料】一般500(400)円/高校生200(150)円/
小中学生100(80)円

※()内は10名以上の団体料金・リピーター割引・JAF割引

【交通】〈バス〉中央バス 岩内ターミナル下車 徒歩1分



木田金次郎「早春のニセコ連山」1960年頃

有島記念館 「雪、雪、雪」

【所在地】〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地

【TEL】0136-44-3245

【URL】https://www.town.niseko.lg.jp/arishima_museum

【開館時間】9:00～17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】一般500(400)円/高校生100円中学生以下とニセコ町在住の65歳以上は無料

※()内は10名以上の団体及び各種割引

【交通】〈JR〉函館本線ニセコ駅下車徒歩30分またはタクシー5分

雪という「白い絵の具」で塗りこめられてしまう北海道の冬。しかし、よくみるとその風景には多彩な表情があることに気づかされます。本展では、イラストレーター・藤倉英幸が描く北海道の冬の風景とともに、藤倉が「はり絵」技法に転向するきっかけとなった版画家・斎藤清の「会津の冬」シリーズもあわせて紹介します。【この展示は「夏の藤倉英幸展Part3」との共同企画として開催します】

【同時開催】

「夏の藤倉英幸展Part3—藤倉はり絵の原点・斎藤清の版画とともに」

7月13日(土)～10月6日(日)まで



藤倉英幸「雲のわく丘」2008年



西村計雄記念美術館 「こちら、荒れ模様です」

Musée Kéou Nishimura



西村計雄「あらし」1947年

天気は移り変わるもの。朝はすっきり晴れたと思えば、昼からは暗雲が立ち込め、夜になれば風吹きささぶ嵐となる日も、年に数日はあるでしょう。本展では、そんな「荒れ模様」の天気に着目。嵐などの悪天候の様子や、荒々しいタッチ・色使いで描かれた作品をご紹介します。

【同時開催】

夏から秋の展覧会「展示作品人気アンケート展」9月23日(月)まで

会場:常設展示室

【所在地】〒048-2202 北海道岩内郡共和町南幌似143-2

【TEL】0135-71-2525

【URL】http://www.musee-nishimura.jp/

【開館時間】9:00～17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【入館料】一般500(400)円/高校生200(150)円/
小中学生100(80)円 ※()内は10名以上の団体料金

【交通】〈JR〉函館本線小沢駅下車バスまたはタクシー10分



小川原脩記念美術館 「青空!」

Shu Ogawara Museum of Art

ミュージアムロードの作家たちは、その時どき、あちらこちらで、出会った空を、様々な思いを込めて描いてきました。海辺の夏空、高原の澄み渡った空、田園のうらかな晴天…出会う場所それぞれに、いろいろな青空があります。

温かな日差し、青空を流れる雲、颯爽と吹く風を感じて、さあ描かれた空の下へ出発です。天気の良い日も悪い日も、ここでは青空に出会えます。

【同時開催】常設展「小川原脩展 私の中原風景」

8月4日(日)まで

開館20周年記念特別展「小川原脩の世界」

8月10日(土)～11月10日(日)

【所在地】〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1

【TEL】0136-21-4141

【URL】http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/

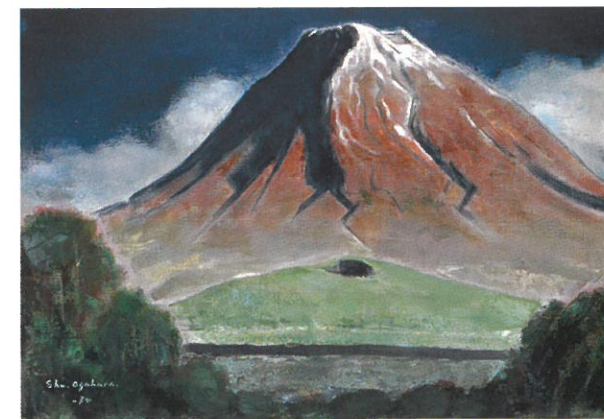
【開館時間】9:00～17:00(入館16:30まで)

【休館日】火曜日

【観覧料】一般500(400)円/高校生300(200)円/
小中学生100(50)円 ※()内は10名以上の団体料金

【交通】〈JR〉函館本線倶知安駅下車徒歩30分

またはタクシー10分



小川原脩「羊蹄山」1974年